



ブランド商店街あいち

## 円頓寺商店街連盟

名古屋市



キャッチフレーズ

### 下町 ご縁まち商店街

#### 事業実施の背景

名古屋でも最も古い商店街として、また円頓寺の門前町として親しまれてきた街。歴史は江戸時代にさかのぼり、明治時代には商店街が形成されていたという。今なお、歴史を感じさせる町並みや情緒を感じさせるまさに下町と呼ぶにふさわしい商店街。古くは名古屋の3大商店街とも呼ばれた往事の賑わいは薄れているものの、最近はこの町の魅力に引き寄せられ新しい店舗も増えており、商店街の歴史に新たなページが書き加えられる予感のする街である。

#### 事業の概要

##### 【地域と商店街一体となった七夕まつりの開催】

毎年、円頓寺、円頓寺本町の両商店街のアーケードに華やかに飾り付けられる七夕飾り。当商店街の七夕まつりは平成19年で52回を迎え、昭和30年代から続くその歴史は市内でも稀有のもの。毎年10万人を超える人出を誇り、名古屋の風物詩となっている。見ものは、やはり店主や地域住民が思い思いに作成したはりぼてによる七夕飾り。中にはとても素人とは思えない、写実的なデザインの作品があり、訪れる人誰もの目を楽しませ、特に子どもたちには大人気である。

子ども会、小学生による飾り制作や写生大会も実施、園児に人気の飾りは七夕祭りが終われば幼稚園に寄付されるなど、未来を担う子どもたちを中心として両親、祖父母、場合によっては曾祖父母まで、幅広い世代が楽しく過ごせる、下町ならではの未だ色濃く残る人のつながりを最大限に生かしたイベントとして、七夕まつりはまさに地域と商店街が一体となってつくりあげられている。



様々なはりぼての七夕装飾



円頓寺

### 事業の効果

- ・ 円頓寺の七夕は、商店街の歴史や魅力をより多くの人にPRする絶好の機会であるとともに、地域の人々の世代を超えた交流の場となっている。

### 事業の課題

- ・ 豊富な地域資源、特性を活かして、出店・起業から観光まで、域内、域外を問わず、若者から団塊の世代まで、幅広く、多様な人々を引き付け、ご縁が結べるような街にしていく。

#### 商店街の基本データ

名称：円頓寺商店街連盟 代表 橋村幸一  
 (円頓寺、円頓寺本町商店街振興組合)  
 所在地：〒451-0042  
 名古屋市西区那古野町1丁目6番16号  
 電話：052-562-1002  
 構成員：約80名

